

NGOとJICAの協働における  
名古屋NGOセンター  
に求められる役割

中島隆宏

# 名古屋NGOセンター「事業の絞り込み」のためのアンケート調査

- 目的: 活動が広範に及び、財源や人材が不足し、組織の存続が危ぶまれている。この状況に対処するためには、中長期的視点で事業を絞り込む
- 実施期間: 2017年9月21日(木)～2017年10月3日(火)
- 対象: 名古屋NGOセンター加盟団体(正会員) 49団体(うち32団体の回答を分析)

## 質問・選択肢】

問1 □貴団体の困りごと(=組織を運営していく上での課題)について、以下の①～⑧までの選択肢に優先順位(□□□□)に優先順位の番号をご記入下さい。□\*センターの事業絞り込みのためご協力願います。

(5) 番目の課題 ← □① 資金の調達(財政面の課題)

(1) 番目の課題 ← □② 会員の獲得・継続

(4) 番目の課題 ← □③ 情報収集・発信(団体に必要な情報収集や広報、イベント募集など)

(2) 番目の課題 ← □④ 有給スタッフ発掘・育成

(6) 番目の課題 ← □⑤ ボランティア・インターン発掘・育成

(7) 番目の課題 ← □⑥ 組織運営(会計・労務、理事会運営、会議運営など)

(8) 番目の課題 ← □⑦ 政策提言/アドボカシー(NGOを取り巻く外部環境・制度の変化)

(3) 番目の課題 ← □⑧ その他 □[内容: 研修活動を中心とした地域開発事業運営、開発教育運営]

上位3つまでの課題について、以下の(□□)内に、①～⑧の数字を記入し、できるだけ具体的な内容をお

# 加盟団体の財政規模（回答数32）

|           |    |     |
|-----------|----|-----|
| 3000万未満   | 25 | 78% |
| 3000万から1億 | 5  | 16% |
| 1億から5億    | 2  | 6%  |
| 計         | 32 |     |
| 1000万未満   | 20 | 62% |

# 組織運営の課題（上位3つを選択）

|                     |    |
|---------------------|----|
| 1. 会員の獲得            | 22 |
| 2. 資金の調達            | 17 |
| 3. ボランティア・インターン発掘育成 | 13 |
| 4. 組織・運営            | 11 |
| 5. 有給スタッフの発掘育成      | 9  |
| 6. 情報の収集と発信         | 7  |
| 7. 政策提言             | 5  |

# 1. 会員が増えない

- 活動が中心になるので、新規の会員を育成する余裕がない。
- 会員の定着率の低い理由は、受益者に的確な活動報告ができていないのではないか
- 会員の高齢化に伴い、退会が相次ぎ、一方で新たな人を獲得するのがたいへん難しい。

## 2. 資金の調達

- 寄付金の減少により活動予算が集まらない。  
助成金を申請してもなかなか獲得に至らない。

### 3. ボランティア・インターンの発掘・育成

- 学生時代はボランティアとして本会の活動に協力してくれる学生は多いが、就職後はその継続が困難となる場合が多い



## 4. 組織・運営（会計・労務、理事会運営、会議運営）

- 事務局の機能が脆弱
- 専従職員2人と一部理事が、事業・庶務・会計ファンドレイジングをしている状況であるため、負担が集中している。

## 5. 有給スタッフの発掘・育成

- 人材の売り手市場状態にあって、給与額ではなくやりがいでもスタッフを募集しても応募がなく、困っている。

## 6. 情報の収集と発信

- いろんなイベント・勉強会等を開催してもなかなか人が集まらない。

# 7. 政策提言

- 自身の活動範囲以外、他地域との情報共有少なく5年後、10年後の戦略見えない限界がある。同地域活動同士の交流で政策戦略を立案できる場が必要か
- 人材や資金の確保等の課題は、能力強化で一部は改善できるものの、より根本的な構造的課題を解決しなければ状況はあまり変わらないという意識が低い
- NPOに対する一般の認識を変えていく必要があるが、一つの団体で行えることではない。

# 名古屋NGOセンターへの期待

- 組織内部の改革もさることながら、厳しい外部条件を緩和していかない限り、ボランティア組織が劣化していく危惧を持っています

←その期待に応えられない現状

# 外部の脅威と機会

## 脅威

- 市民社会スペースが狭められている
- 日本社会が内向き(国際協力離れ)

## 機会

- SDGsへの取り組み — 裾野拡大

# ネットワークNGOとしての 名古屋NGOセンターの役割

- 中部地域におけるネットワークNGOとしての名古屋NGOセンターの、NGOとJICA協働における役割は？ 期待と可能性は？
  - 地域の特性を生かす？
    - 顔と顔が見える？
    - 多様なアクター？
    - NGOとJICA中部の関係を生かす？